

* 東京天文台初代台長寺尾寿の家系図を入手

1888年、東京大学天象台、明治政府の海軍観象台、明治政府内務省地理局が統合され、海軍観象台のあった麻布飯倉の地に東京大学東京天文台が発足した。国立天文台はそれから幾多の変遷を経ながら120年の歴史を重ねてきた。初代台長寺尾寿はその台長職に31年間も在職しており、近代天文学の黎明期を指導してきた。

寺尾寿はまた、1908年に日本天文学会を創設した人でもあり、その初代会長でもあった。そして日本天文学会は今年、2008年に創立100年を迎え、記念の行事がいくつか挙行された。その中に日本天文学会百年記念誌がある。筆者は、その記念誌編纂委員会も発掘し得なかった寺尾寿の東京大学教授在職満25年記念祝賀会の記念写真(写真1)を元東京天文台職員であった井上四郎氏の遺品の中から入手した。



写真1 寺尾寿東京大学教授在職満25年祝賀会記念写真

その記念祝賀会は、明治42年(1908年)6月6日、東京大学附属植物園で催され、170人もの人が出席し、記念写真には153人が写っており、井上四郎氏によるリストで135人の名前が分かっていた。中央に寺尾寿、そしてその両隣にはご母堂、夫人が写っており、夫人の右隣に移っている美しい人(森アツ子)が筆者の親しい仲間内で話題になった。この祝賀会には寺尾寿のご家族が招待されたことがわかっており、中央近くには寺尾本人を

中心に寺尾寿の弟、ご子息も写っている。写真の中央部を拡大したものが写真 2 である。森アツ子氏のことについて調べるため寺尾寿の家系図を入手したいという欲望が湧いてきた。寺尾寿は東京物理学校の創設者の一人でもあり、東京物理学校の初代校長を 14 年間も勤めている。そこで、東京物理学校から発展した東京理科大学の近代科学資料館を紹介してくれる人あり、情報収集に資料館を訪問し、その美しい人、森アツ子は寺尾寿の長女であり、外交官森安三郎氏夫人であることまで分かった。



写真 2 寺尾寿の家族たちと思われる

写真 2 の浜尾新は当時の東京大学総長であり、文部大臣も勤め、再び東京大学総長になっている。團琢磨は寺尾とは同郷の友で、東京大学で天文を教えていたこともあるが、寺尾が後に語ったところによると、寺尾が團を東京大学から追い出したから團は三井財閥の総帥まで上り詰める事ができたと言われている。

その後、筆者が寺尾寿について調査をしているという話を日江井名誉教授から聞いた、東大理学部天文学教室の吉村助教授が家系図を含む情報を寄せてくれた。寄せてくれた情報は「理大フォーラム 2002(9)」というものに掲載された近代科学資料館館長土屋敏雄氏の論文であった。この記事を書くにあたり、土谷敏雄氏のご了解を得て、記事の引用とその中の寺尾寿の家系図が 3 つを引用させていただいた。その 3 つは輻輳していたので、整理し 3 つに分けてエクセルで書き換えた。一つは寺尾寿を中心とした系図、二つ目は寺尾の前妻の系図、三つめは寺尾の後妻の系図である。先ずは寺尾寿の両親から 6 代までの寺尾寿の家系図を図 1 に示す。

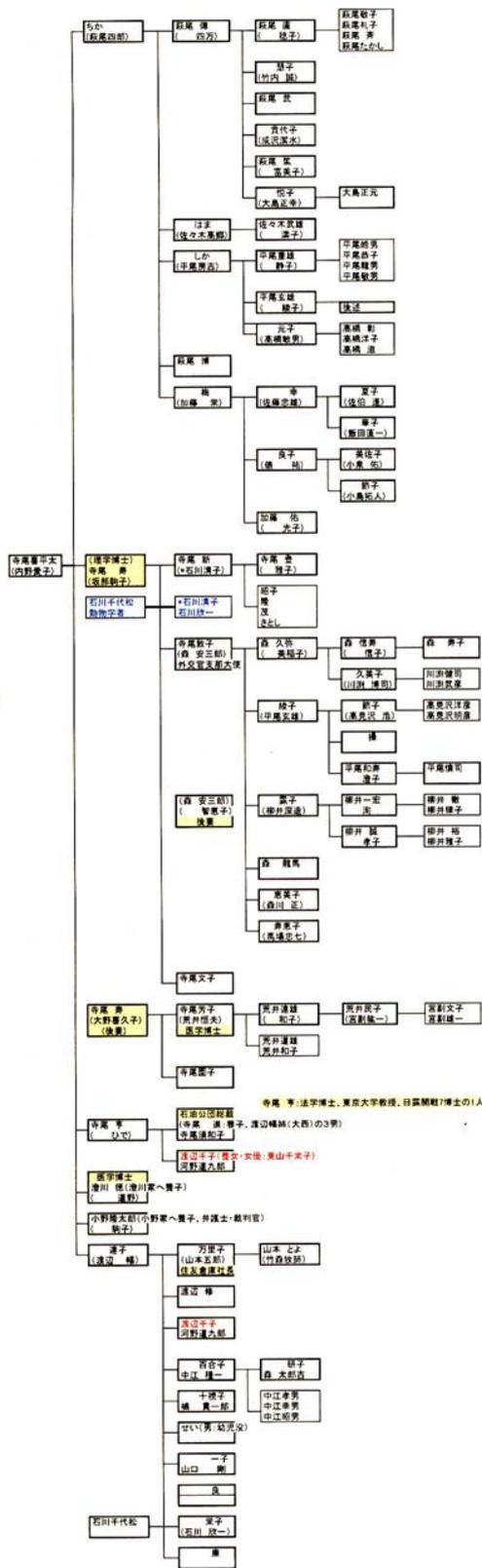


図 1 寺尾寿の家系図全体

これでは極端に縮小されていて、非常に見難いのでこの家系図を3つに分けて掲載する。
 まず寺尾寿の姉に関係するものを図2、寺尾寿の家系図を図3、弟の寺尾亨から末妹までを
 図4に示す。

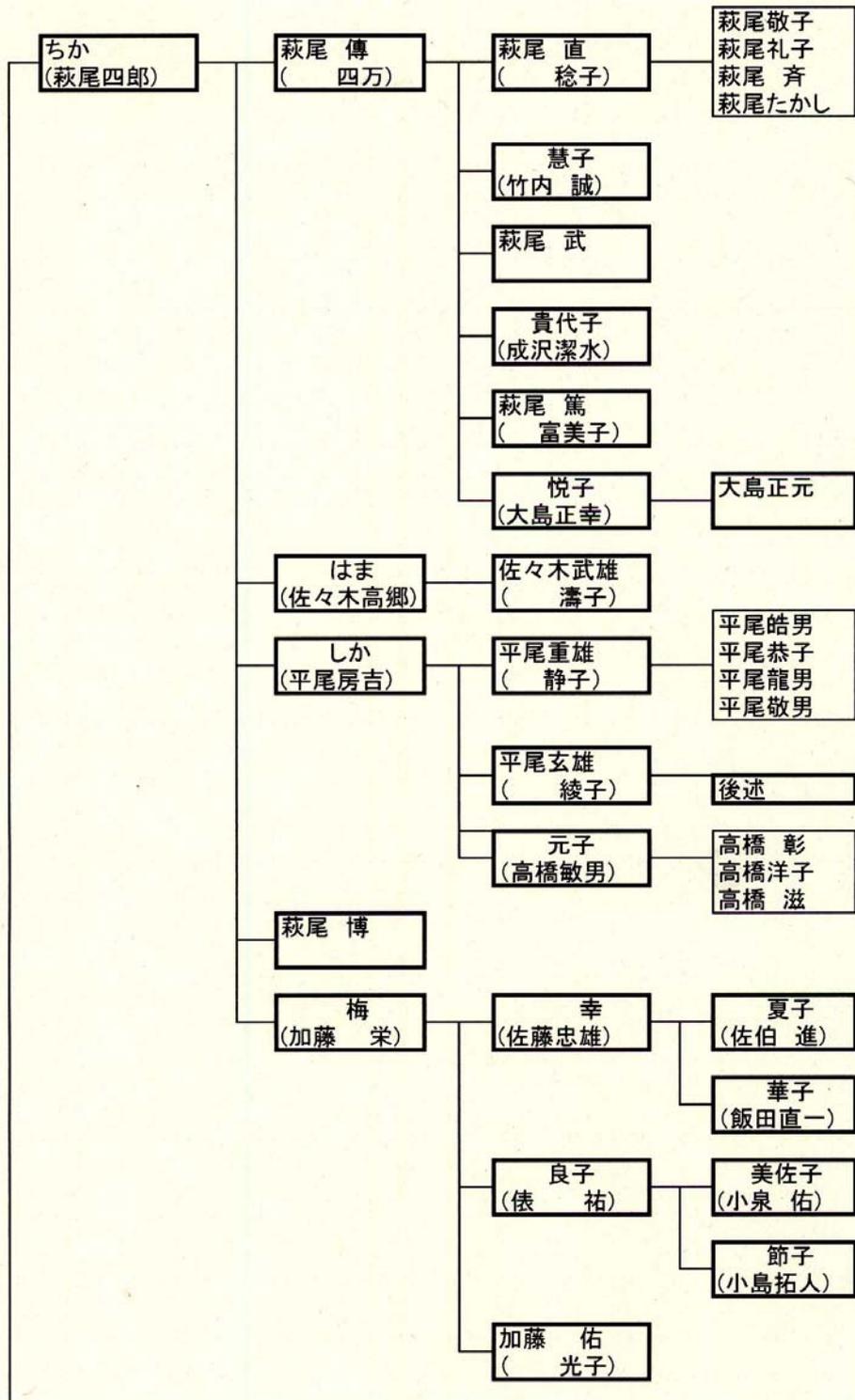


図2 寺尾寿の姉の家系図

次に寺尾寿本人の家系図を図 4 に示す。

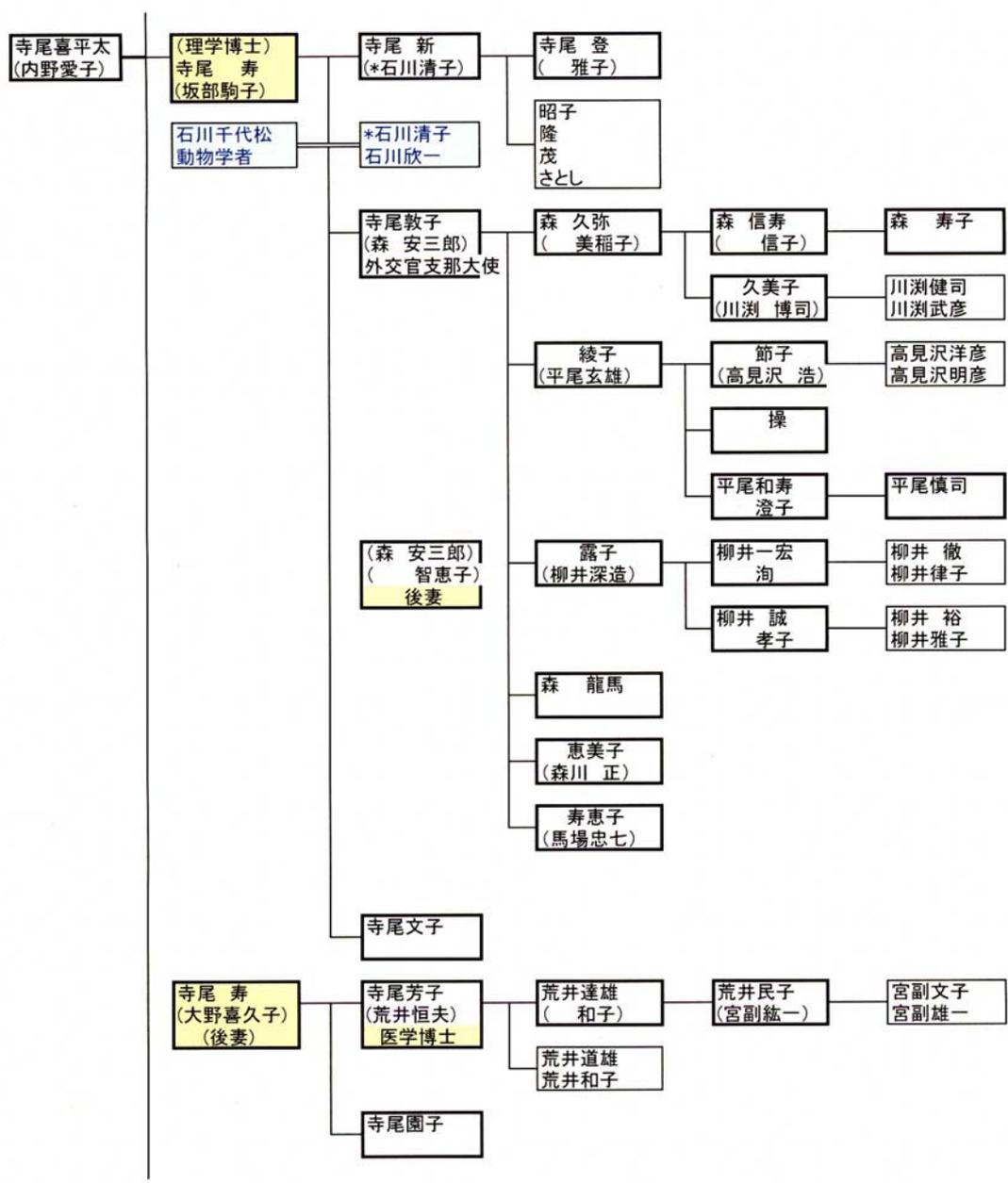


図 3 寺尾寿の直系家計図

この図を見ると、寺尾夫人の右隣の森アツ子氏は、寺尾寿の長女であることが分かる。また、寺尾の最初の夫人との間に 3 人の子どもがおり、その後、寺尾寿は再婚して後妻がいることも分かる。そして後妻にも 2 人の子どもがいる。また寺尾寿の長女、森アツ子氏は子どもを 6 人生んでいるが、その後亡くなったようで、アツ子氏の主人は後妻をもらっていることがわかる。

次に、寺尾の弟から末妹までの家系図を

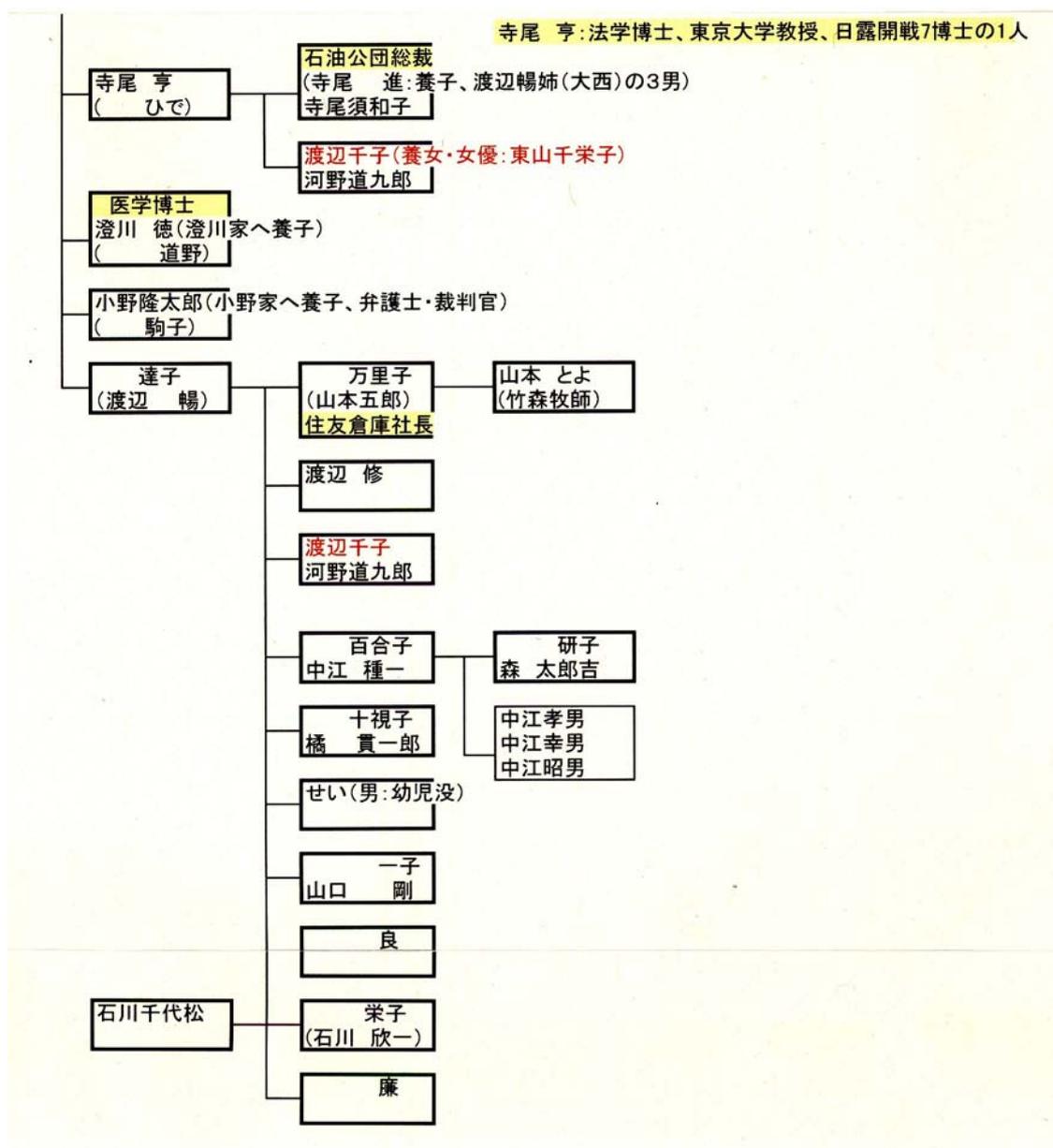


図4 寺尾寿の弟から末妹の家系図

これを見ると、寺尾寿の弟である寺尾亨氏は法学博士であり、東京大学教授を務め、日露戦争開戦7博士の1人とある。そして寺尾亨は妹の達子の次女渡辺千子(姪)を養女としており、この渡辺千子は女優の東山千栄子である。また寺尾寿の2番目、3番目の弟は養子に出ていることが分かる。

次に、寺尾寿の最初の夫人の家系図を図5に示す。

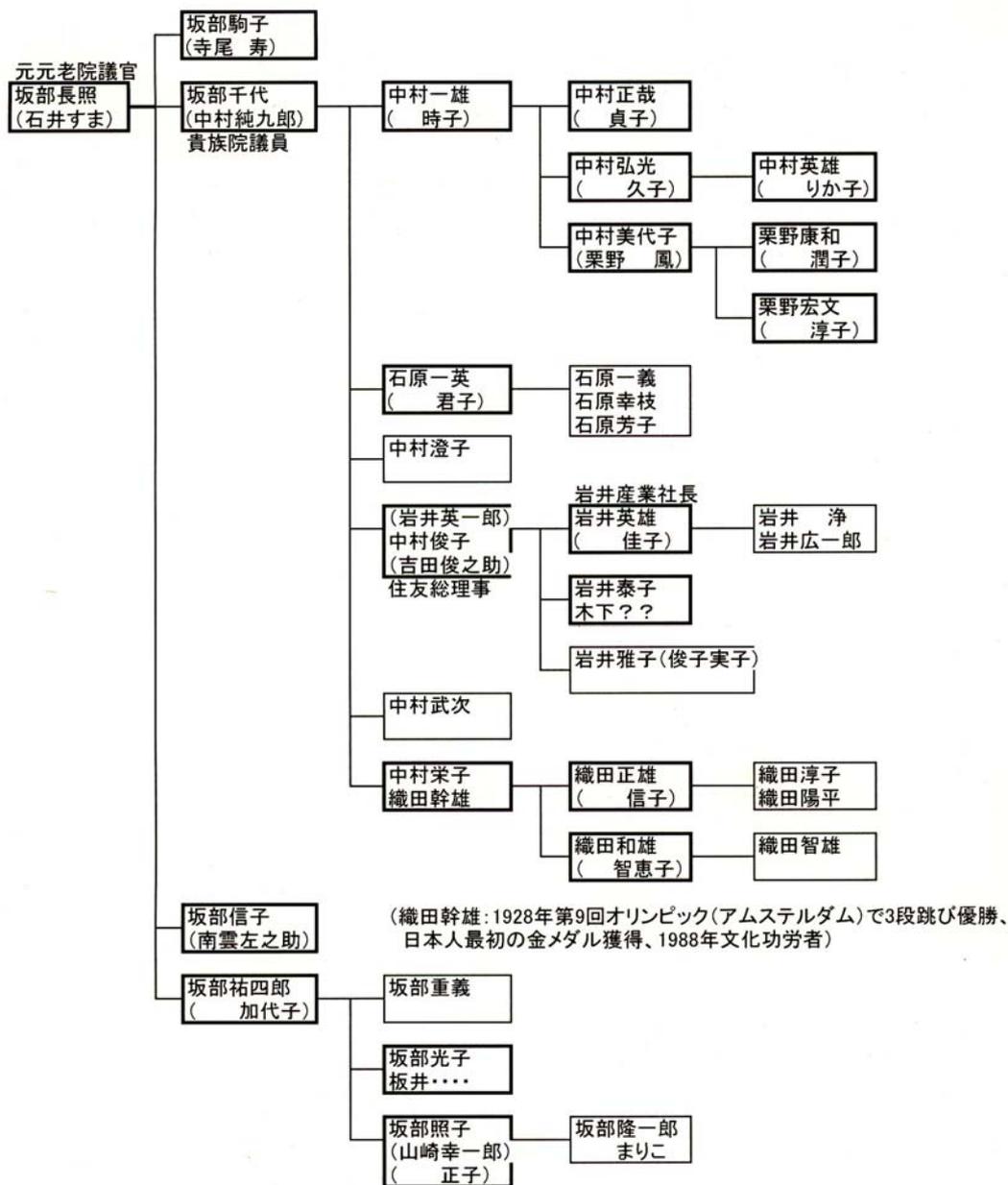


図5 寺尾前妻の家系図

寺尾夫人の姪の中村栄子氏のご主人の織田幹雄氏は、1928年第9回オリンピック（アムステルダム）で、3段跳びで優勝し、日本人最初のオリンピックの金メダル受賞者であり、1988年には文化功労者として表彰されている。

寺尾寿は、後妻をもらっており、後妻の家系図も入手したので図6に示す。

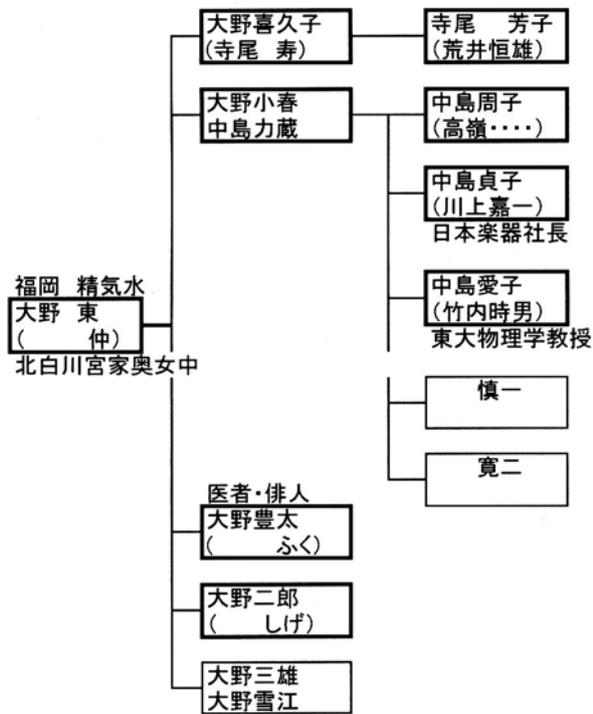


図6 寺尾寿の後妻の家系図

以上の如く、初代東京天文台長であった寺尾寿博士の家系図を入手し、アーカイブデータに加えることができた。

この家系図の情報を提供していただいた吉村宏和氏、これらの引用を許可して下された元東京理科大学近代科学技術館長、元山口東京理科大学長の土谷敏雄氏に厚くお礼を申し上げます。